

広報 ひがしよしの

2025
(令和7年)
1月号

Vol.621

迎春





新年のごあいさつ

東吉野村

村長 水本 実



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は村政に対しまして多大なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元日の能登半島大震災、その復興もままならないところに豪雨災害が重なり、被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。本村におきましては、南海トラフ地震等の自然災害に備え、住民への避難訓練や意識啓発、急傾斜崩壊対策をはじめとした整備などを進めているとこ

ろであります。村づくりの基本理念の一つ「安全安心で住みやすく、多様多彩な人々がお互いを尊重しながら、心豊かに暮らせる村づくり」の実現に更に取り組んでまいります。

また、ウクライナ危機による原油・原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価高騰も収束の兆しを見せず、村民の皆様の暮らしにも大きな影響を及ぼしております。引き続き、村民の皆様や事業者の方への数々の支援事業も積極的に取り組み、村民の皆様の命と生活を守ることを最優先に取り組んで参ります。新型コロナウイルスが5類に移行してから1年が経過し、生活様式やイベントなど、様々なことが型を変えながらも通常に開催される様になり、さらに村民や移住者、クリエイターが「いこか！ふるさとひよし祭り（まちゆり）」や「はじまりの東吉野オーブンアトリエ」を開催されるなど、

地域から活動が起こっています。また、産学官民連携施策で新しい提案を受け、活力ある村づくりに繋げることができたらと考えています。昨年の丹生川上神社小川祭りでは、すべての太鼓台の修復が終わり、美しい八連の太鼓台が揃って境内を練り歩いた様子は、私自身胸が熱くなる思いでした。ただ、新型コロナウイルス自体がなくなったわけではなく、感染者数も依然多く、油断できない存在となっておりますので、本年も引き続き希望者に対する予防接種費用の補助を行ってまいります。

5期18年に亘り村民の皆様が温かいご支援とご協力のもと、行財政改革を進め、財政状況も回復、財政健全化への道筋をつけることができました。しかし一方では、人口減少と少子高齢化が激しい勢いで進んでおり、高齢化率は人口の6割近くとなり、子どもの出生数は、

年間3人程度にとどまっております。

このような情勢の中、村の将来を見据え取り組んでおりますクリエイティブヴィレッジ構想の深化と加速、小さな道の駅の有効活用、また村営住宅・若者定住促進住宅の整備、あるいは小川のまちの再生といった施策を積極的に推進し、積極的に推進し、整備を終えた光ファイバー網を活用して仕事や商売をする都会の田舎好きの若いクリエイターの移住をすすめてまいりました。昨年4月には小川にありますが旧農協支所を整備したサテライトオフィスに、英国デザイン事務所が入居され、古民家改修を主とする事業を展開していただいております。平成26年度から約10年が経過し、のべ73世代148名の方が移住してくださり、そのうち子どもが38人となっております。我々が子育てをした時のような子どもの数に

することを目標とし、これからも邁進してまいります。

国内においては、昨年11月11日に第2次石破内閣が発足致しました。「ルールを守る」「日本を守る」「国民を守る」「地方を守る」「若者・女性の機会を守る」という、五本の柱で日本の未来を創り、そして未来を守るとしています。

本村といたしましても国の動向を見据えつつ、知恵と工夫を出し合い、地域の特性を活かした活力有る村づくりに向けて、過疎化や少子高齢化といった村政課題に真正面から取り組み、村の将来を見据え、東吉野創生に向け、村民の皆様と共に、我が愛する郷土を、そして村民の皆様を「守る」ため、これからも精一杯取り組みたいと考えています。

これまで同様に皆様のご協力と、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、併せて本年も皆様のご健勝とご繁栄を心から祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

東吉野村議会

議長 大丸 仁志



新年あけましておめでとうございませう。

村民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より、村議会に対しまして深いご理解とご協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

本年も議員一同、村民の福祉の向上と村の発展のためより一層尽力いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一昨年は、新型コロナウイルス感染症が五類に移行され、イベント等の開催や観光振興など積極的に行われてきました。

本年も引き続き国際的な人の往来の増加を見据えたインバウンド対策や観光促進、環境問題対策、地方活性化、子ども・子

育てへの重点的な資源配分、賃金所得の拡大や社会保障関係経費なども含め国の動向を確認しながら事業を検討していく必要があります。

本村におきましては、令和七年度も財政健全化に留意しつつ、本村の目指す、普遍的な村づくりの基本理念である「夢と希望の持てる村づくり」「安全安心に暮らせる村づくり」「環境に優しい村づくり」と「第二期東吉野村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の四つの基本目標である「生活を支える雇用を創出する」「都市と地方のつながりを築き、移住・交流を促進し、新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「人が集う魅力的な地域をつくり、互いに支えあう暮らしやすい村をつくる」に沿った魅力のある村づくりを図るため、引き続き地方創生関連補助金など国の政策を有効に活用できるよう十分に留意し、人件費や交際費といった必要不可欠な経費が財政運営を引き続き逼迫する中、限られ

た財源をより良い事業やサービスに転換、充当しなければなりません。

これからも、村民の皆様が安全に安心して潤いのある豊かな生活が営めるよう個性豊かで魅力ある地域をめざし、林業をはじめ地域の特性を活かした産業振興、村内での雇用の場の創出、教育、福祉、医療、防災といった諸課題の解決に向け、皆様のご理解とご協力を得ながら全力で、議員一同一丸となって精励してまいりたいと思っております。

今後とも村当局と互いに協力し合い、村政発展に向け、全力を傾注いたす所存でございますので、どうか東吉野村議会に対しまして、皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

最後に、今年一年が皆様にとって幸多き年でありまして、心からお祈り申し上げます、年頭のあいさついたします。



第5回

定例会

令和6年第5回東吉野村議会定例会が、12月6日から12日までの7日間の会期で開かれました。

この議会では、専決処分報告、奈良県市町村総合事務組合の規約変更のほか、一般会計補正予算などが審議され、いずれも原案どおり可決されました。

そのあらましをお知らせします。

専決処分報告

◆令和6年度東吉野村一般会計予算を補正

令和6年度東吉野村一般会計補正予算(第3号)は、令和6年10月9日に衆議院が解散されたことに伴い、10月27日に執行した衆議院議員総選

挙に係る経費934万6千円を専決処分により補正したものです。

◆奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合の規約変更

奈良広域水質検査センター組合が解散することに伴い、奈良県市町村総合事務組合から脱退するとともに、規約の変更が必要となるため、法の定めるところにより所要の変更を求めたものです。

◆一般会計予算を補正

令和6年度東吉野村一般会計補正予算(第4号)は、1393万9千円

の補正です。

主なものは次のとおりです。

- ・ 国民健康保険事業費特別会計繰出金 323万6千円
- ・ 老人ホーム措置費 191万8千円
- ・ 重度心身障害老人等医療費 36万3千円
- ・ 介護保険特別会計繰出金 3万4千円
- ・ 心身障害者医療費助成 200万3千円
- ・ 簡易水道事業会計補助金 250万円
- ・ し尿中継槽マンホール修繕費 10万4千円

- ・杉谷交流センター手摺り設置補助 18万5千円
- ・補助金超過交付による国庫支出金返納金 441万6千円
- ・補助金超過交付による県支出金返納金 75万3千円

この補正で一般会計の予算総額は、26億2893万2千円となりました。

◆国民健康保険事業費特別会計予算を補正

- 令和6年度東吉野村国民健康保険事業費特別会計補正予算(第2号)は134万9千円の補正です。
- 主なものは次のとおりです。
- ・資格確認書作成経費 1万1千円
- ・財政安定化支援事業 △10万9千円
- ・保険者支援制度分納付金 143万3千円

- ・補助金超過交付による県補助金返納金 1万4千円

この補正で同特別会計の予算総額は、2億5983万4千円となりました。

◆介護保険特別会計予算を補正

- 令和6年度東吉野村介護保険特別会計補正予算(第2号)は、△71万2千円の補正です。
- ・認定調査費 12万7千円
- ・家族介護継続支援費 △83万9千円

この補正で同特別会計の予算総額は、5億5212万2千円となりました。

◆後期高齢者医療特別会計予算を補正

- 令和6年度東吉野村後期高齢者

- 医療特別会計補正予算(第1号)は、67万3千円の補正です。
- ・後期高齢者医療広域連合負担金 67万3千円

この補正で同特別会計の予算総額は5436万7千円となりました。

◆簡易水道事業会計予算を補正

- 令和6年度東吉野村簡易水道事業会計補正予算(第2号)は、簡易水道事業収益237万1千円、簡易水道事業費用267万7千円の補正です。
- 主な費用の内容は、次のとおりです。
- ・村内水道施設修繕等経費 267万7千円

この補正で同会計の事業費用の予算総額は、1億5178万4千円となりました。

今年、令和7年は「巳年」です。

村内の巳年生まれの方の中から新年を迎えての抱負をうかがいました。

(敬称略)



田中 哲 (三尾)

元気で北海道旅行がしたいです。



中西 長四郎 (杉谷)

きままにのんびり過ごせたらと思います。



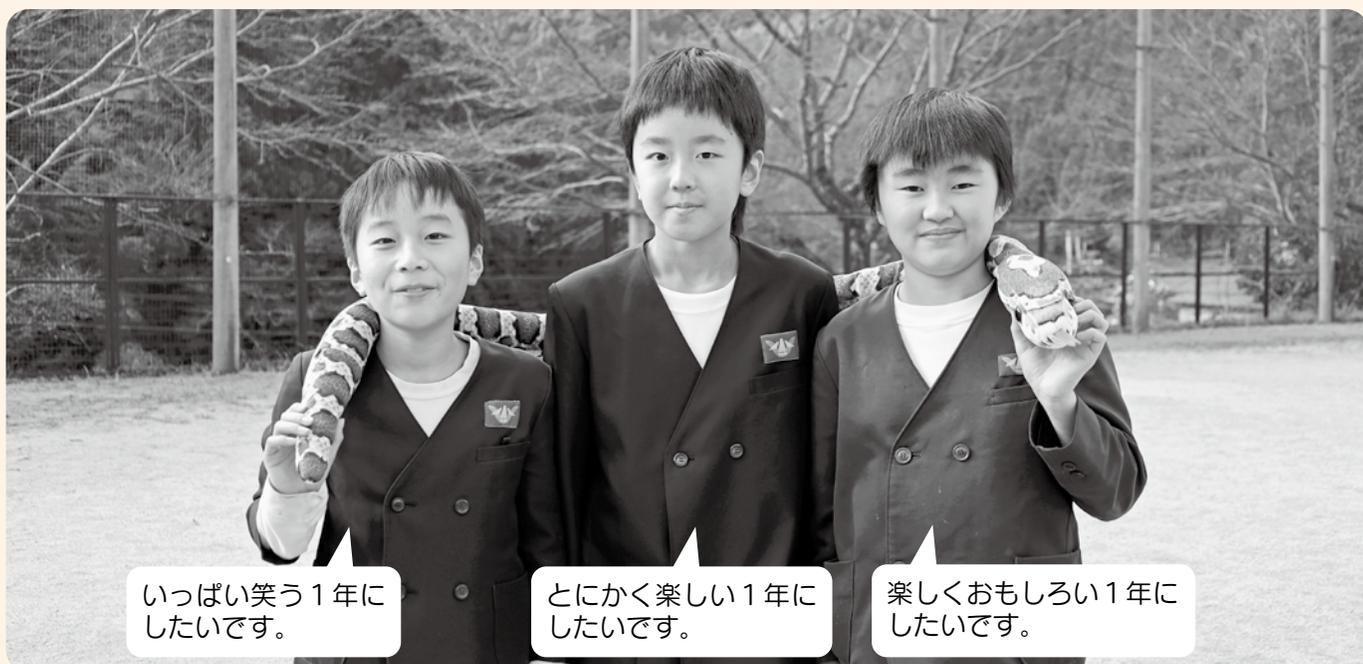
松田 登貴也 (平野)

まず健康で、家族の安寧と東吉野村の繁栄を願って努力・協力したいと思います。



平松 隆之 (小栗栖)

リズム良く生活する。



いっぱい笑う1年にしたいです。

とにかく楽しい1年にしたいです。

楽しくおもしろい1年にしたいです。

川口 幹仁 (小) 今西 太一 (小川) 菅野 間太 (小)

2025年巳年生まれ大集合



福岡
卓子 (驚家)

日々感謝を忘れず、健康に気をつけて、無理せず、自分らしく頑張っていこうと思います。



西垣
愛優 (小)

健康に気をつけて仕事を頑張ります。



12年後も家族で仲良く写真を撮りたいです！

井上 知彦 (驚家)

井上 ひかり (驚家)



自分が満足できる1年にしたいです。

しっかり成長できる1年にしたいです。

大谷 地広 (小栗栖)

藤原 悠翔 (木津)

第20回東小フェスティバル

12月7日、村民民ホールにて第20回東小フェスティバルが開催されました。

はじめに児童代表で6年生の明後泰絆さんが挨拶をし、その後3～6年生のパフォーマンスとして二部合唱とリコーダー演奏、3・4年、1・2年、5・6年生の順に学習発表会と、最後に全校合唱が行われました。

3・4年生は、「嵐を呼ぶ！おたすけ！ひよしレスキュー隊」と題して、アニメクレヨンしんちゃんをアレンジし、消防署で見学した内容を楽しい劇にして披露しました。

1・2年生は、「どくせんインタビュー！ひがしよしの ぜっぴんグルメたび」と題して、東吉野の魅力を紹介し、時にはクイズを交えながら村のお店や、グルメのことが学べる内容の発表でした。

5・6年生は「チクモンスター〜35億の壁〜」と題して、今人気のカードゲームポケポケと、東吉野村のそれぞれの地区（チク）を掛け合わせて紹介しました。

児童たちが仲間と相談して作り、日々練習を重ねた発表会は無事に終えることができました。



3・4年生
舞台クレヨンしんちゃん
～嵐を呼ぶ！おたすけ！ひよしレスキュー隊～



5・6年生
チクモンスター
～35億の壁～



1・2年生
どくせんインタビュー！
ひがしよしの ぜっぴんグルメたび

東吉野小学校に交通安全啓発物品を寄贈

12月19日、村交通安全母の会より東吉野小学校へ交通安全啓発物品が寄贈されました。この啓発物品は、児童はもちろん、そのご家族においても、交通ルールを守り安全・安心な日常が続くよう、今一度、交通安全を考えるきっかけとなることを願って手渡され、後日、全校児童一人一人に物品の配布と共に交通安全の啓発が行われました。

この記事を読まれる年始に当たり、これを機会に今一度、道路を利用する一人一人が交通ルールを確認し、安全で快適に道路を利用出来るよう、みんなで交通事故の無い一年を目指しましょう。

